

平成 28 年 8 月 31 日
一般社団法人 日本船主協会 総務部

広島商船高等専門学校 練習船「広島丸」体験航海を開催

当協会は、海運の重要性を一般の方々にご認識いただくべく広報活動に力を入れており、特に青少年を対象に海運や船員の仕事への理解増進に取り組んでおります。この夏、「海と日本プロジェクト」の一環として「船ってサイコ〜2016 せんきょう夏休みキャンペーン」と銘打ち、船に親しんでいただくための様々なイベントを展開しております。

今般、同プロジェクトの一環として、8月29日に広島県尾道港において、広島商船高等専門学校のご協力の下、練習船「広島丸」の体験航海を開催しました。

同見学会には県下の中学生や一般公募の小学生を含む約80名が参加し、船内では広島高専の学生の案内によりブリッジ（船橋）、エンジンルーム、訓練生の居住スペース等を見学するとともに、救命胴衣の着用訓練や非常食の試食など貴重な体験をすることができました。

また、淀川一等航海士（日本船主協会）からは、外航海運の概要や船員の日常生活等についての講演もあり、参加した中学生や小学生は熱心に聞き入っている様子でした。



救命胴衣の着用訓練（上）および船橋の様子（下）

当協会は、今後も皆様の生活を支える海運を広く知っていただくための活動を展開して参ります。



講演する淀川一等航海士（左）および船上で記念撮影（右）